

◆◆◆ 島袋 裕介 議員 ◆◆◆



◆◆◆ なかゆくい市場(仲泊南)付近の交差点信号について ◆◆◆

質 年々観光客の増加や沖繩県内からのお客さんの増加により、なかゆくい市場付近の交通量もふえております。仲泊南交差点の安全性について行政のお考えをお聞かせください。

答 総務課長 新里勝弘

仲泊南交差点につきましては、国道、県道、村道が交差しており、危険な交差点であるということは認識しております。特に外国の観光客が近年増加して、その危険性は一段と増しているのではないかと

思っております。近年、線が薄れたり、またこういう部分は改善しないといけないと考えているところ

質 交通の安全と円滑を図るためにも、県道6号線に右折帯を設けて、右折信号を設置するなり、また信号機のサイクル、タイミングを変則できないか。公安委員会や石川警察署など、関係機関への要請は行われているか。

答 総務課長 新里勝弘

詳細を再度調査して、警察署、公安委員会、国道事務所との懇談会等もありますので、この中で協議、要請していきたいと考えています。



仲泊南付近の交差点

◆◆◆ 統合中学校の部活動について ◆◆◆

質 現在、恩納村の部活動において、外部「一」の在籍は何名登録されていますか。

答 中学校統合室長 喜久山 隆

恩納中学校で7名、喜瀬武原中学校で3名、仲泊中学校で3名、山田中学校で6名の計19名が外部指導者として登録されています。

質 統合するに当たり、部活動も幾つかふえると思われれますが、子供たちへのアンケートなどは行われていますか。

答 中学校統合室長 喜久山 隆

部活動の件もアンケート調査をいたしました。やりたいという部活動は、一番多かったのはバスケットボールでした。次に、サッカー部が人気がありました。

質 統合に向けての合同練習とかの考えがあればお聞かせください。

答 中学校統合室長 喜久山 隆

野球部のほうから3校合同で練習をしたということ、報告があり、社会体育施設等の利用する際の減免等もこちらのほうで検討をしながら、支援していきたいと思っております。



防災備蓄倉庫(赤間)

◆◆◆ 防災対策、災害対策について ◆◆◆

質 防災備蓄倉庫は、村内に何箇所、そしてどこにあるかお答え願います。

答 総務課長 新里勝弘

村内に5カ所、県民の森、喜瀬武原小中学校、給食センター、赤間運動場、山田小中学校に設置しております。

質 防災備蓄倉庫にはどのようなものが入っていますか。

答 総務課長 新里勝弘

生活必需品として非常食、水、簡易トイレ、おむつ、乳幼児のミルク等も設置されております。機器につきましては発電機、灯器等と防災用の鍋等の備品が整備されています。

◆◆◆ 大城 堅三 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 台風24号による村内の被害状況と今後の災害対策について ◆◆◆

質 村内でも被害が甚大、農道等の倒木処理で今後、農道、村道を調査検証し、事前の伐採作業は、

答 建設課長 崎山 敦

倒れそうな木とかはパトロールをする時に事前に確認し、倒木の恐れのあるものは村道、農道、事前に倒していく方向で考えてます。

質 村道、農道のカーブミラーの倒壊、交通の面で心配されるが。

答 建設課長 崎山 敦

村道、農道のカーブミラー系統は、区長会の情報に基づいて緊急性のあるものから実施していきたい。

質 漁業関係の被害報告の中で、産廃処理費用を組合と協議して行いたい中身は。

答 農林水産課長 佐渡山安正

今回の台風で高潮によって、漁港内の漂着ごみが漁港周辺に散乱し一日かけて集積したごみは産廃処理するが、ごみの量が多く現在恩納、前兼久漁港は把握しているが、真栄田は精査して村と漁協協議し適正に処理したい。

質 高潮、高波の被害で河口閉塞、導流堤の損壊、防波堤の損壊など、瀬良垣でも護岸の損壊があり国管理ですが、要請等、対応策は。

答 農林水産課長 佐渡山安正

集落内の海岸側については建設省の所管の護岸ですので、場所を

質 建設課と確認して、県に要請してまいりたい。

答 建設課長 崎山 敦

今回は長時間の停電がありました。村内の公共施設、関係施設、福祉施設等での被害状況は。

答 総務課長 新里勝弘

沖繩電力うるま、北部の支店長、職員と村長、副村長を交えて協議の場を設け、村で重要視したことは停電により診療所が休診、学校が休校を挙げ、今後長期の停電時には診療所等、優先順位を図るホットライン等の構築をお願いしている。

質 信号機が機能しなくて、危険でした。災害応急対策拠点と連携型の信号機が県内で設置されている。要請等は。

答 総務課長 新里勝弘

今の信号機の設置というのは初めての情報です。村は国道が縦断し交通量も多いので、国道等に情報を聞いて対応を検討したい。

質 ホテル関係の情報とれなかった。村観光危機管理計画を踏まえ、観光協会で被害状況の情報収集とか、今後の検討策は。

答 商工観光課長 宮平 寛

今回、各施設、主要ホテルも含めて、被害状況の報告、提出を求めた中で5カ所からの報告しかな

質 村長 長浜善巳

近年、台風の大型化、また猛烈な風雨、大雨による大災害など、全国どこでも起こり得る状況。今後は国、県、広域の皆さん、また沖繩電力、病院と災害対策に対する強化を図り、瓦礫の撤去作業などはボランティア、村民の力もかりながらやっていかなければと感じております。同時に防災組織を各字全体にできるよう強化したい。

質 対策本部長として、今後の対策についてお聞かせください。

答 村長 長浜善巳

少子高齢化も進んでおります。特に少子化は一番の課題と想っています。それによる村づくりを進めていかなければいけない。子育て支援、若者の定住化が重要。限られた土地を有効に活用して、若者が住み続け安心して子育てができる環境をつくっていききたいと思っています。

質 2期目に向けて村長の思いをお聞かせ下さい。

答 村長 長浜善巳

少子高齢化も進んでおります。特に少子化は一番の課題と想っています。それによる村づくりを進めていかなければいけない。子育て支援、若者の定住化が重要。限られた土地を有効に活用して、若者が住み続け安心して子育てができる環境をつくっていききたいと思っています。

質 村長 長浜善巳

少子高齢化も進んでおります。特に少子化は一番の課題と想っています。それによる村づくりを進めていかなければいけない。子育て支援、若者の定住化が重要。限られた土地を有効に活用して、若者が住み続け安心して子育てができる環境をつくっていききたいと思っています。